

令和5年度 第3回宗谷保健医療福祉圏域連携推進会議
(兼第2回医療計画、介護保険事業(支援)計画、
感染症予防計画の整合性を図るための「協議の場」)

○日時 令和6年(2024年)1月17日 18時30分～19時30分

○場所 稚内保健所2階会議室

○議題 1 次期「北海道医療計画」について

2 次期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」について

3 次期「北海道感染症予防計画」(素案)について

4 「健康危機対処計画(感染症編)」について

5 公立経営強化プランについて

6 令和5年度地域医療構想推進シートについて

7 重点課題について

○議事等

医療計画、介護保険事業(支援)計画、感染症予防計画の整合性を図るための「協議の場」の説明

(1)事務局から資料に基づき説明

道の医療提供体制を図るための計画として位置づけられている医療計画については、高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画等の関連計画との整合性を確保することから、郡市医師会等の関係団体や各市町村の参集し、計画の整合性を図る「協議の場」として、保健医療福祉圏域連携推進介護を開催している。

また、感染症予防計画については、新型コロナウイルス感染症に関する取組を踏まえ、次の感染症へ備えるため、医療計画と整合性を図りながら策定することから、合わせて協議することとしている。

第2回目の「協議の場」である本会議では、計画の素案をベースに、各計画の整合性や各地域の現状を踏まえてご意見いただきたい。

(2)質疑応答・意見等 (有・)

議題1 次期「北海道医療計画」について

(1)事務局から資料1、資料2-1及び資料2に基づき説明

次期「北海道医療計画」の素案については、骨子からの内容の変更はなく、現行計画からの変更点としては、「第3章 5 疾病・6事業及び在宅医療のそれぞれに係る医療連携体制の構築」に「第9節 新興感染症発生・まん延時における医療体制」を追加し、「第4章 地域保健医療対策の推進」に「第5節 慢性閉塞性肺疾患(COPD)対策」及び「第6節 慢性腎臓病(CKD)対策」を新設した他、現行計画では策定期間が異なっていた「北海道医師確保計画」及び「北海道外来医療計画」を組み込み、「第6章 医師の確保」及び「第8章 外来医療に係る医療提供体制の確保」として次期計画に章立てした。

また、医療・介護が連携した包括ケアシステムで実践される人生会議(ACP)や医師の働き方改革等についても記載し、他の計画や制度等と整合性を図っている。

次期「北海道医療計画」の策定に向けたスケジュールについては、地域説明会やパブリックコメントの結果等を踏まえ、2月下旬に計画(案)を作成し、3月中旬～下旬に北海道医療審議会への諮問・答申、3月下旬に告示の見込みである。また、次年度9月末には各圏域において「地域推進方針」の策定を予定している。

当圏域の地域推進方針の策定に向けたスケジュールとしては、9月の策定までに、「協議の場」を設け、圏域の課題や方向性について、意見いただきたい。

(2)質疑応答・意見等 (有・)

議題2 次期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」について

(1)事務局から資料 2-1、2-2、2-3 に基づき説明

◆次期「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」について

「北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」は、「北海道高齢者保健福祉計画」と「介護保険事業支援計画」を一体的に策定するものであり、計画の期間を3年間とし、令和6年度(2024年度)を第9期計画の始期としている。

当該計画では、福祉サービスと保健医療サービスの連携を図る観点から、北海道医療計画に定める「第二次医療圏」と地域福祉支援計画に定める「第二次地域福祉圏」と一致された基本的な地域単位として「高齢者保健福祉圏域」を定めている。

次期計画では、高齢者を支える大きな柱として「医療・介護連携の充実」を掲げており、「在宅医療・介護連携コーディネータ」の育成、在宅医療・介護連携推進事業に取り組む市町村の支援、地域で在宅医療を担う医療従事者等に対するソフト的支援や看取り環境の整備、ICTを活用した医療・介護連携ネットワーク構築支援などハード面の支援を行うこととしている。

数値的な目的としては、21 の高齢者保健福祉圏域全てで 24 時間体制の訪問看護ステーションが整備されることを目標としている他、在宅死亡率は上昇していくことを見込んで、計画を推進することとしている。

宗谷圏域の当該計画素案について、詳細な数字は各保険者等でサービス見込み量を検討している最中であるが、数値が埋まったものが最終的な完成となるので、参考とされたい。

◆第2回宗谷高齢者保健福祉圏域連絡協議会の開催結果について

令和5年(2023年)12月26日付けで書面開催された第2回宗谷高齢者福祉圏域連絡協議会では、「第9期北海道高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画」の素案についての情報共有及び計画期首における中頓別町所在の特別養護老人ホーム長寿園、養護老人ホーム長寿園の定員減少、設置主体の変更及び特定施設入所者生活介護の開始に係る取扱いについて協議し、全ての委員から了承を得て、昨日、1月16日付けで、各委員に報告を終えたことを報告する。

(2)質疑応答・意見等 (有・)

議題3 次期「北海道感染症予防計画」について

(1)事務局から資料5、資料6-1に基づき説明

「北海道感染症予防計画」については、これまで計画期間が異なっていた「北海道医療計画」と平成30年度から期間を統一させ、整合性を保っている他、次年度に国で策定予定であり「新型インフルエンザ等対策政府行動計画」に合わせて「北海道新型インフルエンザ等対策行動計画」の策定を予定しており、当該計画との整合性についても調整することを検討している。

当該計画策定に当たっては、北海道感染症対策連携協議会による検討体制を構築し、次期「北海道介護予防計画」策定後についても、計画に係る評価・検証のため連携協議会で協議・議論を実施し、平時からの連携強化・綿密な準備のためのPDCAサイクルを築いていく。

今後の検討スケジュールについては、12月から1月にかけてパブリックコメント及び次期「北海道医療計画」地域説明各を実施し、2月に連携協議会及び定例道議会へ報告し、3月の計画策定を検討している。

(2)質疑応答・意見等 (有・)

議題4 「健康危機対処計画(感染症編)」について

(1)事務局から資料6-2に基づき説明

「健康危機対処計画(感染症編)」については、これまでの新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、次の新興感染症への有事の際の備えとして、平時から準備を進めるための具体的方策を示すガイドライン・手引き書として、令和5年度(2023年度)中に各保健所で策定するよう「地域保健対策の推進に関する基本的な指針」に基づき、国から都道府県に通知があったものである。

当計画の大まかなひな形案については、道本庁で示されているが、宗谷管内の具体的な地域特性を考慮し、実効性を持ち、かつ、地域の関係機関と連携し、活用できる形で進めていく必要があるため、道が示したひな形案をベースとした概要のほか、資料編として地域特性の考慮したものを、今年度中に限らず、順次作成・改変するなどして、拡充していきたい。

(2)質疑応答・意見等 (有・)

議題5 公立病院経営強化プランについて

(1)市立稚内病院 寺下庶務課長から資料7-1、7-2及び7-3に基づき説明

市立稚内病院の公立病院経営強化プランの素案については、国のガイドラインに基づき、計画の策定作業を進めてきており、12月に外部委員で構成する市立病院運営委員会で協議を経て素案として承認された。

本プランの趣旨としては、公立病院経営強化ガイドラインを踏まえ、市立稚内病院が地域において果たすべき役割機能を改めて見直し、明確化するとともに、看護師等の限られた資源の医療資源を地域全体で最大限公立的に活用する視点を重視し、持続可能な地域医療体制を確保するため、総合的な経営強化に取り組むこととして策定している。

プランの内容の中で、地域医療構想に関わる事項としては、「1 役割機能の最適化と連携の強化」

にて示されており、医療機関間の連携を一層強化するとともに、出張医体制から段階的な常勤体制の強化に取り組みを進めていく他、質の高い医療サービスや介護サービス、在宅医療の提供体制の整備など、地域包括ケアシステムを構築する医療機関としての役割を果たし、救急患者の受入はもとより、地域の医療機関から紹介患者を受け入れや、かかりつけ医への逆紹介を徹底するなど、地域連携部門を中心に推進し、運用中である地域連携システム「ID-Link」の運用施設の拡大を図り、患者情報の共有化、さらなる連携強化にも取り組んでいく所存である。

(2)質疑応答・意見等 (有・)

議題6 令和5年度地域医療構想推進シートについて

(1)事務局から資料8に基づき説明

地域医療構想推進シートについては、意向調査や更新調査を基に、令和5年度案を更新しているところである。

更新された箇所については、年度の数値更新の他、「外来」の医療機能に「紹介受診医療機関」を追加、「休棟等」の欄に「今後再開」「廃止」の別を追加、調査表や回答様式に基づく内容を更新し、赤字で記載している。

また、令和4年の病床機能報告の数値が公表されていないことから、一部暫定値として、令和3年の数値を記載しており、その他、「本年度の取組に関する評価(課題)及び今後の方向性」の数値も確定していないため、数値を空欄としている。

なお、数値が未確定な部分については、数値確定後、次回以降の本会議において、圏域の地域医療構想推進シートとして確定としたい。

(2)質疑応答・意見等 (有・)

議題7 重点課題

(1)事務局から資料9に基づき説明

令和元年度より、地域医療構想推進シートを基に圏域において確認や現状共有している重点課題は4点である。

今回は、年度更新及び現状に合わせた更新したので、本会議において共有する。

(2)質疑応答・意見等 (有・)

その他 医療従事者の確保の取組について

(1)礼文島国民健康保険船泊診療所

礼文島国民健康保険船泊診療所における医師の確保に関しては、近年では常勤医2名体制を取ることができていたが、昨年秋頃より医師1名の体調不良により、1年間の休暇を取得しているところである。

そのなかで、昨年は利尻島国保中央病院から6件の医師の派遣協力を得ることができ、来年度に

関しても、引き続き利尻島国保中央病院を始め、市立稚内病院と協力しながら、医療体制の確保に努めて参りたい。

また、看護師の確保については、北海道看護協会から紹介のあった看護師が、1年の応援期間を経て、正職員として採用されるなど、地道な勧誘活動が確保に繋がっている状況もあり、引き続き正職員の確保に努めて参りたい。

(2)質疑応答・意見等 (有・無)